

活動名「栗田区の自然と文化を体験しよう。」

1. 日時 令和5年8月19日(土)～20日(日)

2. 場所 栗田ふれあい会館(小浜市栗田)

3. 内容 竹を山から切り出し、加工して流しそうめんを実施。また、地域の伝統文化である地藏盆に向けた準備をする中で、地域の自然環境への理解を深めるとともに文化行事を楽しみつつ、その意義と重要性を体感した。宿泊行事として実施することで地域の子どもやその保護者の連携も深めることができた。

4. 参加人数 17名

5. 活動の様子



子どもたちは「暑い、暑い」と言いながらも重たい石の地藏を協力して運び出し清掃を行った。



夕食などの買い出しにスーパーへ。必要な材料を子どもたちが話し合いながら購入。「総菜の唐揚げやチキンカツを買おう。」など独自の工夫を加えようとするなど主体的な姿勢がうかがえた。



竹やぶへ行き竹の伐採を行った。身の丈の何倍もある竹を切り、それが倒れる姿を見て子どもたちは大歓声。倒した竹を運びやすい長さに切り、昼食会場付近へ運んだあと、竹割などの加工を行った。「竹割はとても力のいる作業で、大変だった。」と作業の様子を子どもたちは語っていた。流しそうめんでは子どもと大人たちが声を掛け合いながら楽しんで食べる事ができた。そのあとの、スイカ割でも子どもたちは大はしゃぎ。最後に、竹を伐採した周辺の平地に桜の木の植樹を活動記念として行った。

子どもたちは「竹を切って楽しかった」「そうめんをいっぱい食べた。」「みんなと一緒に泊まるのがこんなに楽しいとは思わなかった。」など、それぞれの記憶に残る経験を最後に感想として伝えてくれた。

6. 事業の成果

この事業では子どもたちが共同体の芽に気づくことができた。自然環境を身近なものとしてとらえること、伝統行事が両親や祖父母など長い年月を経て再生産されていること。それぞれのかかわりが深くなることで豊かな共同体が形成されることなど、今の子どもたちにはまだ理解しきれないことだか、これらの経験を繰り返すこと、そしてこれからの成長過程でそれを振り返ることで子どもたちは共同体の重要性を認識しその維持・成長を求めるようになる。子どもの数が減少する中で地区行事の内容も簡素化されてきている。それは共同体の簡素化にも影響を与える。今後もこのような事業を積極的に実施し、自分たちの生きる地域の維持・繁栄ができる仕組みを定着させていきたい。